

問題 7 次の文章を読んで(41)から(45)の中に入る最もよいものを、1・2・3・4 から一つ選んでください。

私がここで説こうとするものは、韻文でない文章、すなわち散文のことです。それではあらかじめご承知を願っておきます。

そこで、韻文でない文章だけ 、実用的と芸術的の区別はありません。実用的な目的で作られる文章も、芸術的に書いた方が効果があります。昔は口でしゃべることをそのままに書かず、文章のときは口語と違った言い方をしまして、言葉づかいなども、民間の俗語を用いては  と思い、わざと実際に遠くするように修飾を加えた時代がありますので、あの美文のようなものが役に立ったこともありますけれども、今日はそういう時代でない。現代の人は、どんなにきれいな、音調の麗しい文字を並べられても、実際の理解が伴わなければ 。礼儀ということも、全然重んじないのではないが、高尚優美な文句を聞かされたからといって、それを礼儀とは受け取らない。第一我々の心の動きでも、生活の状態でも、外界の事物でも、 に比べればずっと変化が多くなり、内容が豊富に、精密になっておりますから、字引をあさって  が使いふるした言葉を引っ張ってきたところで、 の思想や感情や社会の出来事には当てはまらない。それで、実際のことが理解されるように書こうとすれば、なるべく口語に近い文体を用いるようにし、俗語でも、新語でも、ある場合には

外国語でも、何でも使うようにしなければならない。

45A、韻文や美文では、分からせるということ以外に、目で見て美しいことと耳で聞いて快いこととが同様に必要な条件でありましたが、現代の口語文では、もっぱら「分からせる」「理解させる」ということに重きを置く。45Bも備わっていればいるに越したことはありませんけれども、それにこだわってはい間に合わない。実に現代に世相はそれほど複雑になっているのでありまして、文章の役目は手いっぱいなのであります。

41

- |           |            |
|-----------|------------|
| 1 からいえば   | 2 にしていわせれば |
| 3 についていえば | 4 ともいうと    |

42

- |              |            |
|--------------|------------|
| 1 人間性にあふれている | 2 礼にかけている  |
| 3 口語に合わない    | 4 目的を果たせない |

43

- 1 通じる文とはならない
- 2 口語にはあたらない
- 3 コミュニケーションでなくはない
- 4 美しいと感じない

44A-B-C

- 1 昔 / 現代の人 / 現代
- 2 現代 / 昔の人 / 現代
- 3 昔 / 昔の人 / 現代
- 4 昔 / 昔の人 / 昔の

45A-B

- 1 とにかく / どちらかの条件
- 2 結局 / いずれの文
- 3 要するに / どれの文
- 4 つまり / ほかの二つの条件